2022.6.19

岡山視察報告会

倉敷美観地区と大原家と綿と

土井裕之　３期生

●桃太郎伝説
←「温羅（うら）伝説」

温羅＝百済王子の名。
異国から温羅＝「鬼」が吉備国に来た。
物資・婦女子略奪。居城「鬼ノ城」。
吉備津彦（きびつひこ）に敗れる。

●温羅「英雄」説

朝鮮半島の百済の王子は、
白村江の戦いで敗れた。
吉備国に来た。
風貌恐れられていたが、
稲作・製鉄・造船など技術伝承。
吉備英雄となる。

桃太郎は「鬼が**島**」に鬼退治…

美観地区…倉敷を代表、美しい街並みの保存と活用

大原家、倉敷に多大な貢献

大原總一郎

明治42年（1909）7月29日倉敷に生まれる　大原孫三郎長男　昭和14年倉敷絹織（倉敷レイヨン、クラレ）社長　16年倉敷紡績社長　22年両社社長辞任　物価庁次長就任　23年倉敷絹織社長に復帰　28年倉敷紡績の取締役となる

そのほか　大丸・山陽放送・朝日放送・アラスカパルプの各取締役　日本瓦斯化学工業相談役　京阪神急行電鉄監査役　クラレ油化社長を兼ねた　幅広い経済活動を続け　関西経済同友会代表幹事　関西経済連合会副会長などをつとめた

公職としては国民生活審議会会長　経済・人口問題・農政・住宅対策・近畿圏整備の各審議会および税制調査会の委員をつとめた

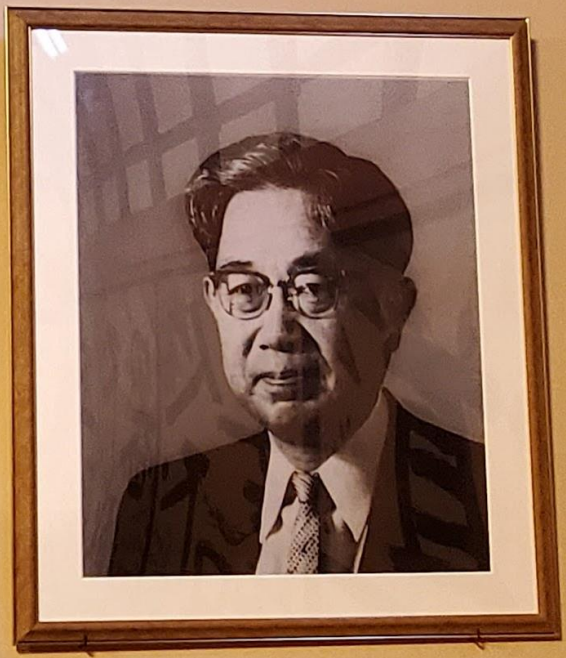
倉紡社長としては　戦時中の多角経営と生産増強　さらに戦後の再建計画を指導した

倉敷レイヨン社長としては　国産合成繊維ビニロンの企業化に成功し　この技術の海外輸出にも成功した

文化人としても著名で　日本民芸協会会長として民芸の普及に努め　また　大原美術館の充実拡大　倉敷民芸館の創設　考古館への援助　音楽の愛好など多面的活動をみせた　郷土倉敷の地をこの上もなく愛し　倉敷の発展に大いに貢献した

昭和36年「化学繊維工業論」により経済学博士となる

昭和43年7月27日死去（58才）



倉敷の「綿」の歴史

●もともとは海
●東に吉井川／西に高梁川／中央部に旭川
　岡山県の三大河川が土砂を運び干潟が発達
●1585年頃：宇喜多開墾・西阿知新田・東阿知新田開発
　→児島半島誕生「児島湾」
●江戸時代中期以降：塩に強い綿やイグサ生産
　／運河の倉敷川周辺＝綿問屋などで賑わう。
●1889年：倉敷紡績所（現クラボウ）
●1955年：全国の学生服の7割を児島産
●1965年：国内初ジーンズ生産。

地形と
その特徴を活かした
「綿」生産と
その後の努力で裕福に！

高梁川流域連盟

●大原總一郎が提唱
●高梁川流域連盟は、
・文化、科学、教育、産業経済等
　に関する調査研究
・会員相互の親睦理解を深め
　流域全般の文化向上に寄与
●会員は高梁川流域の市町村、
　本連盟の目的に
　賛同する個人・法人

倉敷観光WEB
　高梁川流域観光ポータルサイト- 倉敷観光WEB▶